

第4期宇治市生涯学習審議会 第2回審議会

| | |
|--|--|
| 会議名 | 第4期宇治市生涯学習審議会 第2回審議会 |
| 日時 | 平成21年8月20日(木) 午後1時30分から3時30分 |
| 場所 | 宇治市役所 8階 大会議室 |
| 出席者 | <p>(委員)</p> <p>森川 知史 委員長、杉本 厚夫 委員長職務代理、奥西 隆三 委員、門脇 洋子 委員、迫 きよみ委員、向山 ひろ子 委員、弓指 義弘 委員、渡辺 孝明 委員、坂田 耕作 委員、清水 桂子 委員、竹之下 典祥 委員、原 保彦 委員、六嶋 由美子 委員</p> |
| | <p>(事務局)</p> <p>櫻木 武 教育部次長、加藤 きみ江 生涯学習センター所長、池田 聖 生涯学習課主幹、久泉 昭人 生涯学習課生涯スポーツ係長、川瀬 章治 生涯学習課生涯学習係長、森 敦子 生涯学習課主査、杉山 博美 生涯学習課主事</p> |
| | <p>(傍聴者)</p> <p>1名</p> |
| <p>前回の会議録について、委員からの意見が特になかったため、公開することとなった。</p> <p>委員長による開会のあいさつ</p> <p>(1) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度京都府社会教育委員連絡協議会 総会について ・平成21年度山城地方社会教育委員等連絡協議会 総会・研修会について <p>それぞれ委員から報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み子どもフェアについて | |

第4期宇治市生涯学習審議会 第2回審議会

(事務局)

7月28日、29日に開催された。多くの出展者とボランティアの参加、3,000人の来場者があり、盛況のうちに終了した。

- ・第19回紫式部文学賞について

(事務局)

桐野 夏生さんの『女神記』に決定した。11月15日に贈呈式が開催される。

(2) 協議事項

- ・今期の審議事項について

(委員長)

今回は、審議事項を決定するうえでの手がかかりとするため、自由に意見交換をしたい。

私は、コミュニケーション論を専門に教鞭をとっている。コミュニケーションは、自分をどれだけ明確に理解するか、人と関わるかがポイントである。

現在、コミュニケーションに関する講座の依頼が多く、ニーズが増していると感じている。これは、コミュニケーションに悩む人の多さを表しているのだろう。

前回の会議で意見が出た、地域とのつながり、子育て、公共施設のありかた等と、コミュニケーションとのつながりを考えれば、審議事項が見つかるように思う。

(委員)

私は、シニアの活用法を考えたい。経験、技術が豊富なシニアが活躍できる場所は、多くある。子育てに関わることはもちろん、独居老人の介護、話し相手等だ。高齢者に対して、もっときめ細かい活動をしなければならない。さらに高齢化が進む社会にとって、重要な課題である。

(委員)

子育て世代から高齢者までをつなぐ仕掛けや、中学生以上の青少年の居場所が必要だ。また、地域のために、公民館をもっと気軽に使えるようにすべきだ。

(委員長)

青少年が集まれる場は、作らなければならないだろう。

(委員長職務代理)

市には、青少年課はあるのか。

(事務局)

第4期宇治市生涯学習審議会 第2回審議会

青少年課は、主に生徒指導、不登校についての仕事を担当している。市内に3つある青少年センターについては、主に小学生を対象とした事業を行っている。

(委員長職務代理)

小学生と良い関係を築くことができても、中学生になると途端に途切れてしまう。「中1ギャップ」を解消するために小中一貫教育が押し進められている。社会教育においても、このギャップに対応する必要がある。スポーツ分野ではどうか。

(委員)

地域のスポーツ少年団は、小学生が対象であり、中学生になると学校のクラブに入部する。スポーツの分野でも同様だ。

(委員)

京都府で、日本PTA全国研究大会が開催される予定である。分科会のテーマに「コミュニケーション」を考えていたが、具体的な進め方について悩んでいた。この会議で、コミュニケーションについて審議されるならば、嬉しい。保護者もコミュニケーションを勉強したいと思っている。

(委員)

中学生が集まって喫煙しているところを見かけた。勇気が出ずに注意しないまま通り過ぎようとしたら、私に気付いて、話しかけてくれた。以前、小学校のお話会で会っていたようだ。その会話できっかけがつかめ、注意ができた。注意したとき、中学生は嬉しそうだった。今までの話を聞いていて、これも、人と人との関わりだと思い出した。

(委員長)

怒るのにもエネルギーが必要だ。お互いに無関心な社会が出来上がっている。これをどうすべきか。

(委員)

今の若い世代が、親になったときに心配だ。人との関わりにはエネルギーが必要だ。自分についても、そのエネルギーがいつまであるのだろうかと思う。

(委員)

同じメディアがインターネット等により、いつでも、どこでも手に入る時代になったためか、今の学生は、人と同じ会話に入らなければならないと思っている。また、地域のつながりや社会経験の乏しさにより、自尊感情が低いようにも感じる。

第4期宇治市生涯学習審議会 第2回審議会

(委員長)

方向性は見えているように思う。次回の審議会で、審議事項を決定したいと思う。

(3) その他

- ・平成21年度近畿地区社会教育研究大会〔奈良大会〕について
- ・第51回全国社会教育研究大会熊本大会について
参加される委員には、別途案内済みである。
- ・平成21年度やましろ未来っ子『京の子ども 明日へのとびら』 実践交流会について

(事務局)

道德教育を推進するための会である。道德の教材である『京の子ども明日へのとびら』に、委員が原稿を寄せており、講演されることになった。参加を希望される場合は、事務局まで。

- ・平成21年度「源氏ろまん2009」について

(事務局)

10月3日の「源氏物語セミナー」を皮切りに、「宇治田楽まつり」、「宇治十帖スタンプラリー」、「第19回紫式部市民文学賞・市民文化賞贈呈式及び記念イベント」等が開催される。ぜひご参加いただきたい。

- ・第27回市民スポーツまつりについて

(事務局)

10月12日に開催予定である。ぜひご参加いただきたい。

閉会のあいさつ

(委員長職務代理)

今秋は、多くの研修会等に、委員のみなさまが参加される。次回の審議会で、情報交換をしたい。

<次回の会議について>

平成21年10月19日(月) 午前10時から